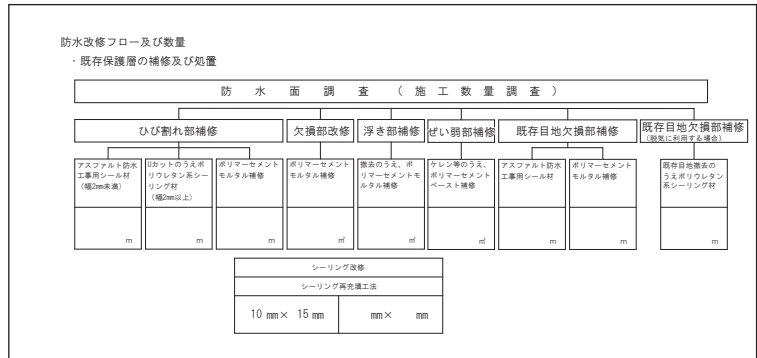


倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事

図面番号	図面リスト(建築)	縮尺
A-00	タイトル・図面リスト	
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)	
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	
A-04	工事概要・配置図・付近見取図	1/600
A-05	1階 平面図	1/250
A-06	2階 平面図	1/250
A-07	3階 平面図	1/250
A-08	2階 天井伏図	1/200
A-09	3階 天井伏図	1/200
A-10	北側 立面図・外部仕上表	1/200
A-11	断面詳細図・部分詳細図・建具表	1/5・1/30・1/50
A-12	仮設計画図(参考)	1/250

備考		有限会社 小林設計事務所 鳥取市 下段526-2 TEL 23-6245 一級建築士登録60642号 小林孝行	CHECK	DRAW	DATE	工事名称	倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事	図面番号	A-00
				R05-	図面名称			図面リスト	SCALE(A2B1)





4-1-1 外壁改修工事 (共通事項)	1	可とう性エポキシ樹脂 [4. 2. 4]	品質性能等 比重：表示値±0.10、押出し性：60秒以下 スランプ：3mm以下、加熱減量：5%以下 引張強さ： 常温物性1.0N/mm ² 以上、低温物性1.0N/mm ² 以上、加熱変化した1.0N/mm ² 以上 伸び：常温物性30%以上、低温物性30%以上、加熱変化した30%以上 引張接着性 最大引張応力：常温物性1.0N/mm ² 以上 破断時の伸び：常温物性10%以上 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被覆体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温・常温（温度5～35℃、湿度45～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。

4-1-1 外壁改修工事 (共通事項)	5	ポリマーセメントスラリー [4. 2. 4]	品質性能等 注込試験：拡がり速さ3cm/s以上、粘着係数0.5～1.0 保水試験：保水係数0.35～0.55 長さ変化試験：長さ変化率3%以下（収縮） 引張接着強さ：0.5N/mm ² 以上（28日材齢） 吸水率：15%以下（72時間） 変曲引張強さ：5.0N/mm ² 以上

4-1-1 外壁改修工事 (共通事項)	6	吸水調整材 [4. 3. 5]	改修標準仕様書表4.3.2による

4-1-1 外壁改修工事 (共通事項)	7	既製調合モルタル [4. 3. 5]	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質性能等 保水率：70%以上 単位容積質量：1.8kg/L以上 接着強さ：標準時 0.6N/mm ² 以上、温冷繰り返し後 0.4N/mm ² 以上 長さ変化率：0.2%以下 曲げ強さ：4.0N/mm ² 以上 試験方法 イ) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準値より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.1に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 ロ) 保水率 JIS R 2020「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定するみがき板ガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、イ)で調製した試料を平滑に詰込む。 その後、直ちリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにしみ出した水分の広がり最大と認められた方向とそれに直角な方向の長さsをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率sを求める。 保水率=50/平均値×100（注）50：リング型わくの内径 mm ハ) 単位容積質量 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 ニ) 標準時の接着強さ 1. 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 （試験体の作製）JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水直しを行い直ちにイ)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形のI類（施ゆう）50角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度90%以上の状態で温空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法）JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.9付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で調製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さを測定する箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。（全てが0.6N/mm ² 以上） 2. 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 （試験体の作製）JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水直しを行い直ちにイ)で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形のI類（施ゆう）「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度90%以上の状態で温空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法）「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 ホ) 温冷繰り返し後の接着強さ （試験体の作製）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々ニ)接着強さ（標準時）の試験方法の「試験体」と同様とする。 （温冷繰り返し試験）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10温冷繰り返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±2℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰り返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べ。 （温冷繰り返し後の接着強さ試験方法）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm ² 以上） ヘ) 長さ変化率 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーメディスパージョン及び再水化形熟成樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 ト) 曲げ強さ JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
---------------------------	---	-----------------------	--

4-1-1 外壁改修工事 (共通事項)	2	ポリマーセメントモルタル [4. 2. 4]	品質性能等 だれ 下がり量：5mm以内、表面状態：ひび割れの発生がないこと 曲げ強さ：6.0N/mm ² 以上、圧縮強さ：20.0N/mm ² 以上 接着性 標準時：1.0N/mm ² 以上、温湿時：0.8N/mm ² 以上、低温時0.5N/mm ² 以上 透水性：裏面ぬれ、水滴の付着がないこと 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常温において製造後6ヶ月保存しても変質がないこと。

4-1-1 外壁改修工事 (共通事項)	3	パテ状エポキシ樹脂 [4. 2. 4]	品質性能等 初期硬化性（標準）：2.0N/mm ² 以上、接着強さ（標準）6.0N/mm ² 以上 圧縮強さ：50.0N/mm ² 以上、曲げ強さ：30N/mm ² 以上、硬化収縮率：3.0%以下 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被覆体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温・常温（温度5～35℃、湿度45～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 試験方法 イ) 曲げ試験以外「JIS A 6024「建築補修用注入エポキシ樹脂」の6.試験方法による。 ロ) 曲げ試験 1. 6.1 b)の試料を標準寸法の金型（長さ80.0±0.2mm、幅10.0±0.2mm、厚さ4.0±0.2mm）に充填し、6.1の試験室の状態での7日間養生後、脱型したもの。 2. 試験方法は、JIS K 7171「プラスチック-曲げ特性の求め方」による。 3. 曲げ強さは、次の式によって計算する。 $\sigma_b = \frac{3PL}{2bh^2}$ σ _b : 曲げ強さ (MPa) P: 最大荷重 (N) L: 支点間距離 (mm) b: 試験片の幅 (mm) h: 試験片の厚さ (mm) 4. 試験の回数 各試験 3回
---------------------------	---	------------------------	--

備考			
----	--	--	--

4-1-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	①	ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 2. 4～7]	品質性能等 接着強さ：1.0N/mm ² 以上 圧縮強さ：20.0N/mm ² 以上 曲げ強さ：3日後の値 10N/mm ² 以上 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)形状に異常がなく、だれが生じないこと。 5)常温・常温（温度5～35℃、湿度45～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 試験方法 イ) 試験室の状態：温度23±2℃、湿度50±5%を標準状態とする。 ロ) 試験体個数：3個 ハ) 試料の調整：標準状態で試験室に保管した主剤及び硬化剤を製造所の定める割合で採取し、十分に攪拌する。 ニ) 外観：ハ)の試料を清浄なガラス板に均一に塗布し、均質性と異物の混入の有無を観察。 ホ) 圧縮強さ：JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.4により試験体を作成し、10.1.4)に規定する試験機で10.5により測定し、10.6により求める。 ヘ) 曲げ強さ：JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.4に準じて試験体を作成する。10.1.5)に規定する試験機により、支点間100mmとし、供試体を成形したときの側面の中央に毎秒50 Nの割合で 載荷し最大荷重 P (N) を求め、P × 0.00234 = σ b の式で求める。 ト) 比重：曲げ試験体の寸法と重量を測定して求める。 チ) 接着強さ：JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書 B（規定）及び推奨仕様 B-1に規定する普通平板の表面を清浄し、その上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて単軸引張りを加える。最大荷重 (P) を断面積 (A) で除して求める。 テ) だれ試験：JIS A 5371の 附属書 B（規定）及び推奨仕様 B-1に規定する普通平板の表面を清浄して、その上に厚さ30mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にエポキシ樹脂モルタルを塗り付け、塗付け開始から5分後に、平らに置かれた平板を直角に立て起し、そのままの状態で静置する。24時間後のエポキシ樹脂モルタルの変形状態を観視し、その形状の異常の有無とだれ長さを測定する。
-------------------------------------	---	---------------------------------------	--

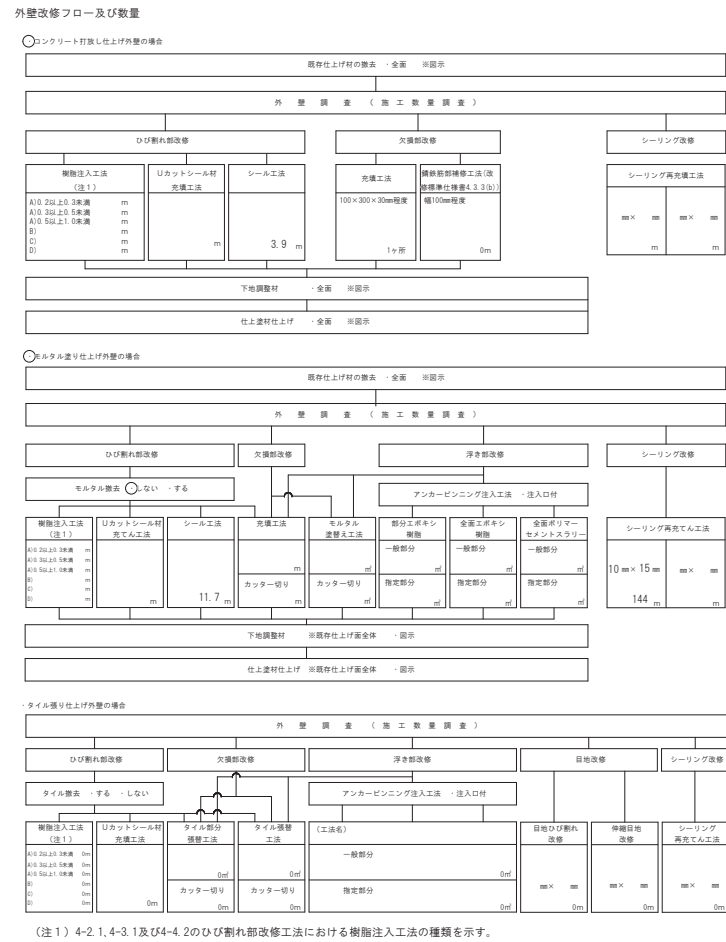
4-1-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	②	欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 2. 4, 8]	品質性能等 注込試験：拡がり速さ3cm/s以上、粘着係数0.5～1.0 保水試験：保水係数0.35～0.55 長さ変化試験：長さ変化率3%以下（収縮） 引張接着強さ：0.5N/mm ² 以上（28日材齢） 吸水率：15%以下（72時間） 変曲引張強さ：5.0N/mm ² 以上

4-1-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	③	外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)	品質性能等 注込試験：拡がり速さ3cm/s以上、粘着係数0.5～1.0 保水試験：保水係数0.35～0.55 長さ変化試験：長さ変化率3%以下（収縮） 引張接着強さ：0.5N/mm ² 以上（28日材齢） 吸水率：15%以下（72時間） 変曲引張強さ：5.0N/mm ² 以上

4-1-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	④	外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)	品質性能等 注込試験：拡がり速さ3cm/s以上、粘着係数0.5～1.0 保水試験：保水係数0.35～0.55 長さ変化試験：長さ変化率3%以下（収縮） 引張接着強さ：0.5N/mm ² 以上（28日材齢） 吸水率：15%以下（72時間） 変曲引張強さ：5.0N/mm ² 以上

4-1-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	⑤	外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	品質性能等 注込試験：拡がり速さ3cm/s以上、粘着係数0.5～1.0 保水試験：保水係数0.35～0.55 長さ変化試験：長さ変化率3%以下（収縮） 引張接着強さ：0.5N/mm ² 以上（28日材齢） 吸水率：15%以下（72時間） 変曲引張強さ：5.0N/mm ² 以上

4-1-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	⑥	外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	品質性能等 注込試験：拡がり速さ3cm/s以上、粘着係数0.5～1.0 保水試験：保水係数0.35～0.55 長さ変化試験：長さ変化率3%以下（収縮） 引張接着強さ：0.5N/mm ² 以上（28日材齢） 吸水率：15%以下（72時間） 変曲引張強さ：5.0N/mm ² 以上



7 塗装改修工事

- ① 材料 [7. 1. 3]
- ② 下地調整 [7. 2. 1~7]
- ③ 錆止め塗料塗り [7. 4. 2, 3]
- ④ 仕上げ塗料塗り [7. 5. 2~7. 12. 2]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする（ ）

塗替え種別がR種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す

下地調整、素地ごしらえ

下地面の種別	塗替え	新規	ひび割れ部の補修
木部	※R種	・A種 ・B種	—
鉄鋼面	※R種	・C種	—
鉄鋼面 (DP)	※R種	・B種	—
垂鉛めっき面	※R種	・A種 ・B種	—
モルタル面、せっこうプaster面	※R種	・A種 ・B種	・行う
コンクリート面、ALCパネル面 (DP以外)	※R種	・B種	・行う
コンクリート面、押出成形セメント板 (DP)	※R種 ・RC種	・A種 ・B種	・行う
せっこうボード面、その他ボード	※R種	・A種 ・B種	—

錆止め塗料塗りの種別

塗装面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類
鉄鋼面	SOP	新規見え掛り	・A種
		新規見え隠れ	・B種
		塗替え	・C種
	EP-G	新規見え掛り	・A種 ※B種
		新規見え隠れ	・B種
		塗替え	・C種
DP	新規	○A種	
	垂鉛めっき鋼面	・A種 ※B種	
	SOP	・A種	
垂鉛めっき鋼面	SOP	新規鋼製建具等	・A種
		新規その他	・B種
		塗替え	・C種
	EP-G	新規鋼製建具等	・A種
		新規その他	・B種
		塗替え	・C種

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	屋外木部	※B種	※A種
	屋内木部	※B種	※B種
	鉄鋼面	※B種	・A種 ※B種
	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種
・クリアラッカー塗り (CL)	木部	・A種 ※B種	・A種 ※B種
	屋内の2次面	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	コンクリート面	・A-1種	・A-1種
	及び押出成形セメント板面	・B-1種	・B-1種
○耐候性塗料塗り (DP)	コンクリート面	・A-1種	・A-1種
	及び押出成形セメント板面	・C-1種	・C-1種
	モルタル面	・A-1種	・A-1種
○つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	屋内木部	※B種	※A種
	屋内鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種
	屋内垂鉛めっき面	※A種	※A種 ・B種
	コンクリート面	※B種	・A種 ・B種
	モルタル面	※B種	・A種 ・B種
	せっこうプaster面	※B種	・A種 ・B種
	せっこうボード面	※B種	・A種 ・B種
	その他ボード面	※B種 ○C種	・A種 ・B種
	・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	※B種	・A種 ・B種
	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・ステイン塗り	・ヒグメントステイン塗り	・ヒグメントステイン塗り	・ヒグメントステイン塗り
	・オイルステイン塗り (OS)	・オイルステイン塗り	・オイルステイン塗り
・木材保護塗料塗り (WP)	・A種 ※B種	・A種 ※B種	
つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしみ止め ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする 合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする			
・高日射反射塗料塗り (G)	下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2)	・RA種 ※RB種 ・RC種	

工程	塗料その他			塗付量 (kg/m ²)
	規格番号	規格名称	種類	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級 塗料製造所の仕様による

クリアラッカー塗りA種の工程2着色
・適用しない ・適用する (着色剤： ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色
・適用しない ・適用する (着色剤： ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)
オイルステイン塗りの工程等

備考

有限会社 小林設計事務所
鳥取市 下段526-2 TEL23-6245
一級建築士登録60642号 小林 孝行

CHECK DRAW DATE R05-

工事名称 倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事
図面名称 改修工事特記仕様書 (3)

図面番号 A-03
SCALE (A2版)

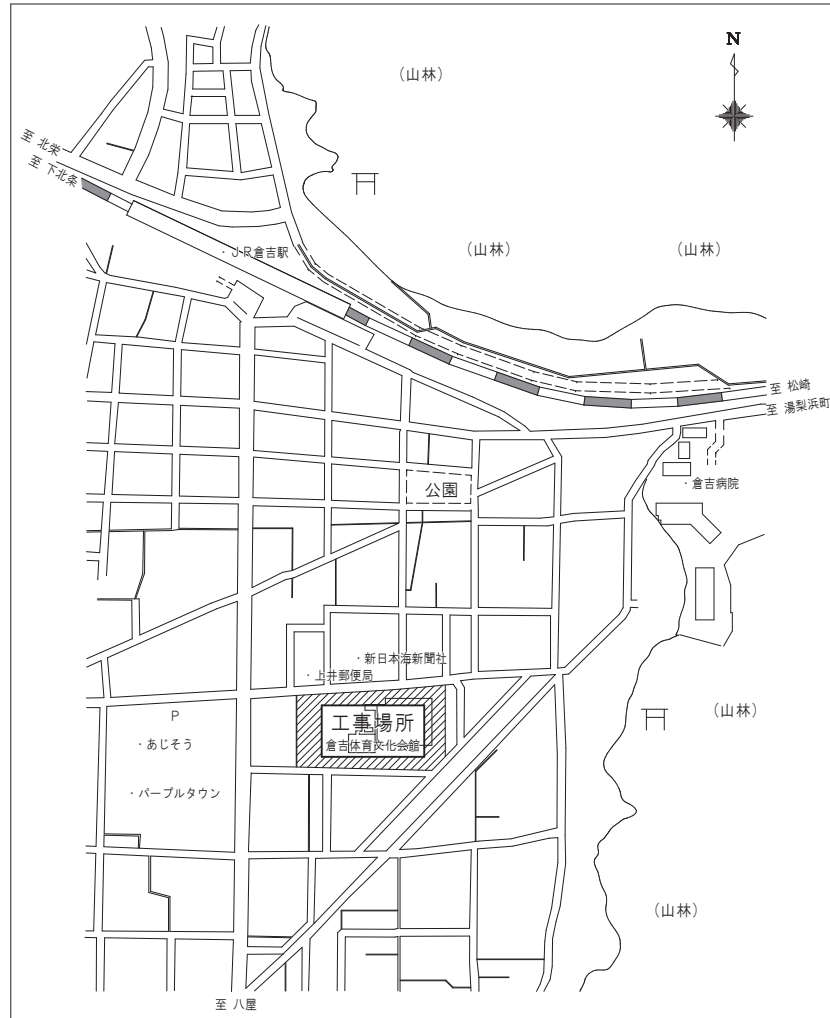


【工事概要】

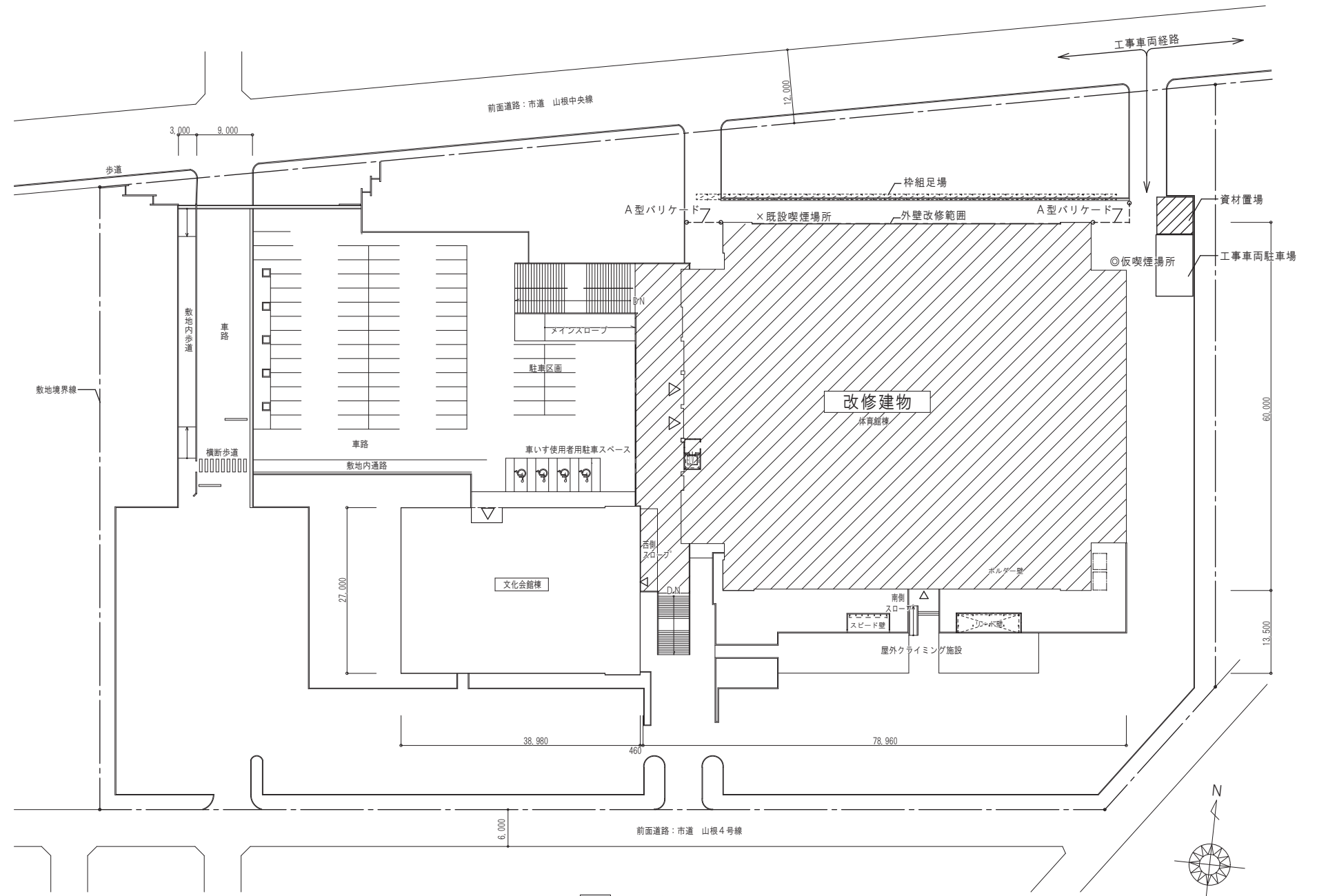
体育館の北側外壁面が経年劣化による外壁の劣化が激しいため改修を行うものである。（東・西側は改修済み）併せて、バルコニーの鋼製手摺り及び同軒天の塗装改修を行う。

【特記事項】

- ・施工に先立ち、事前調査(目視・打診・マーキング・計測・図面記入等)を実施し報告書及び施工計画書を作成し、監督員と協議を行い承諾を得ること。
- ・関係車両駐車場及び資材置き場等について、施設管理者と協議し承諾を得ること。
- ・仮設設置及び工事期間中は、施設利用者等の建物の出入り及び車両を含む敷地内の通行の支障とならないよう注意すること。
- ・工事に伴い施設の建物本体・外構及び備品等に毀損・汚損が生じた場合は、施工者の責任に於いて速やかに原状復旧すること。
- ・既設の喫煙所について、工事期間中の移設場所は施設管理者と協議すること。



付近見取図

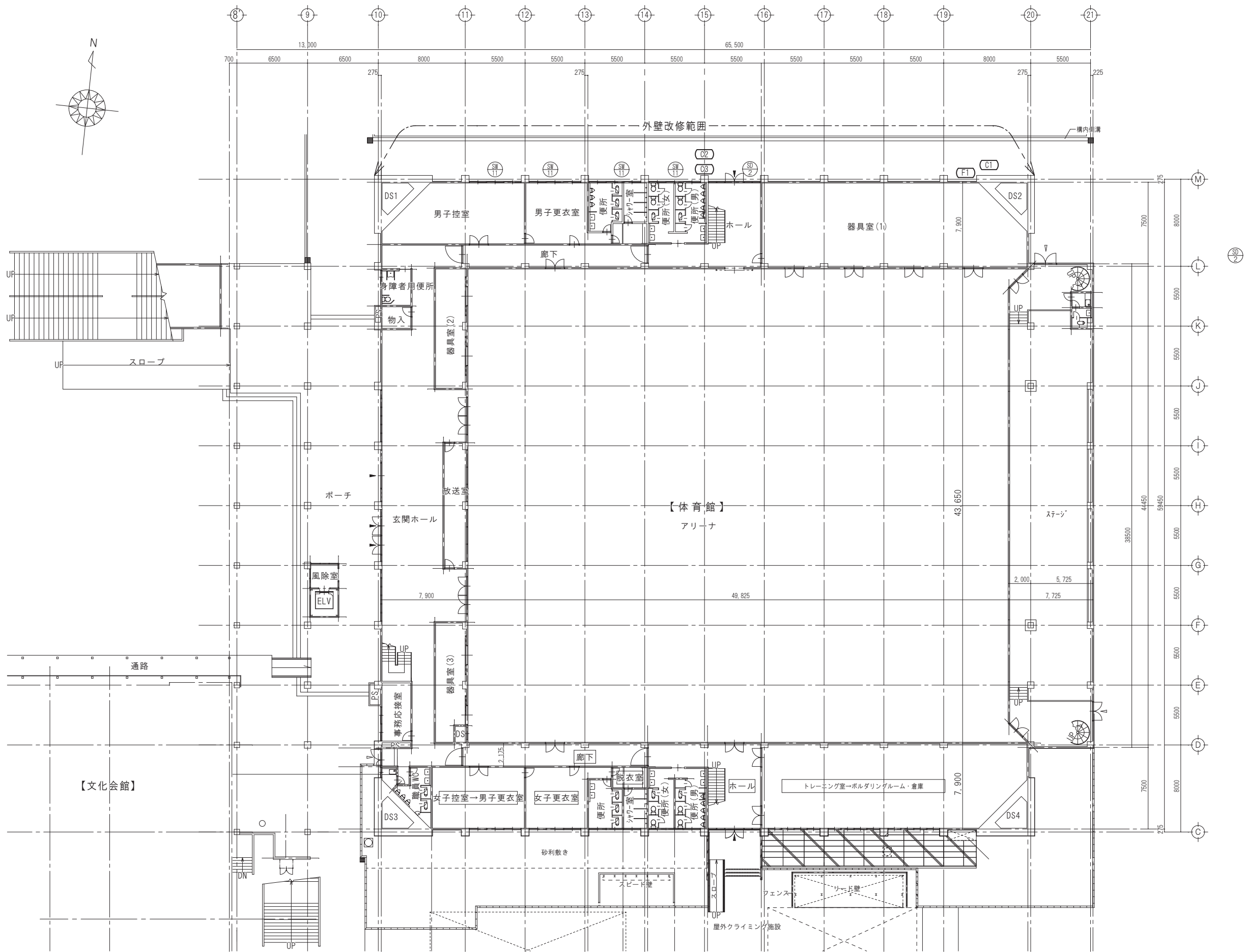


改修対象範囲を示す

配置図 1/600

鳥取県
令和5年度
J2300229
中部環境建築
局

備考		有限会社 小林設計事務所 鳥取市 下段526-2 TEL23-6245 一級建築士登録60642号 小林 孝行	CHECK	DRAW	DATE	工事名称 倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事	図面番号 A-04
				R05-	図面名称 工事概要・配置図・付近見取図		



コンクリート打放し面 浮き

記号	寸法 mm	面積 m ²
F1	50×200	0.05
面積小計		m ²
		0.05

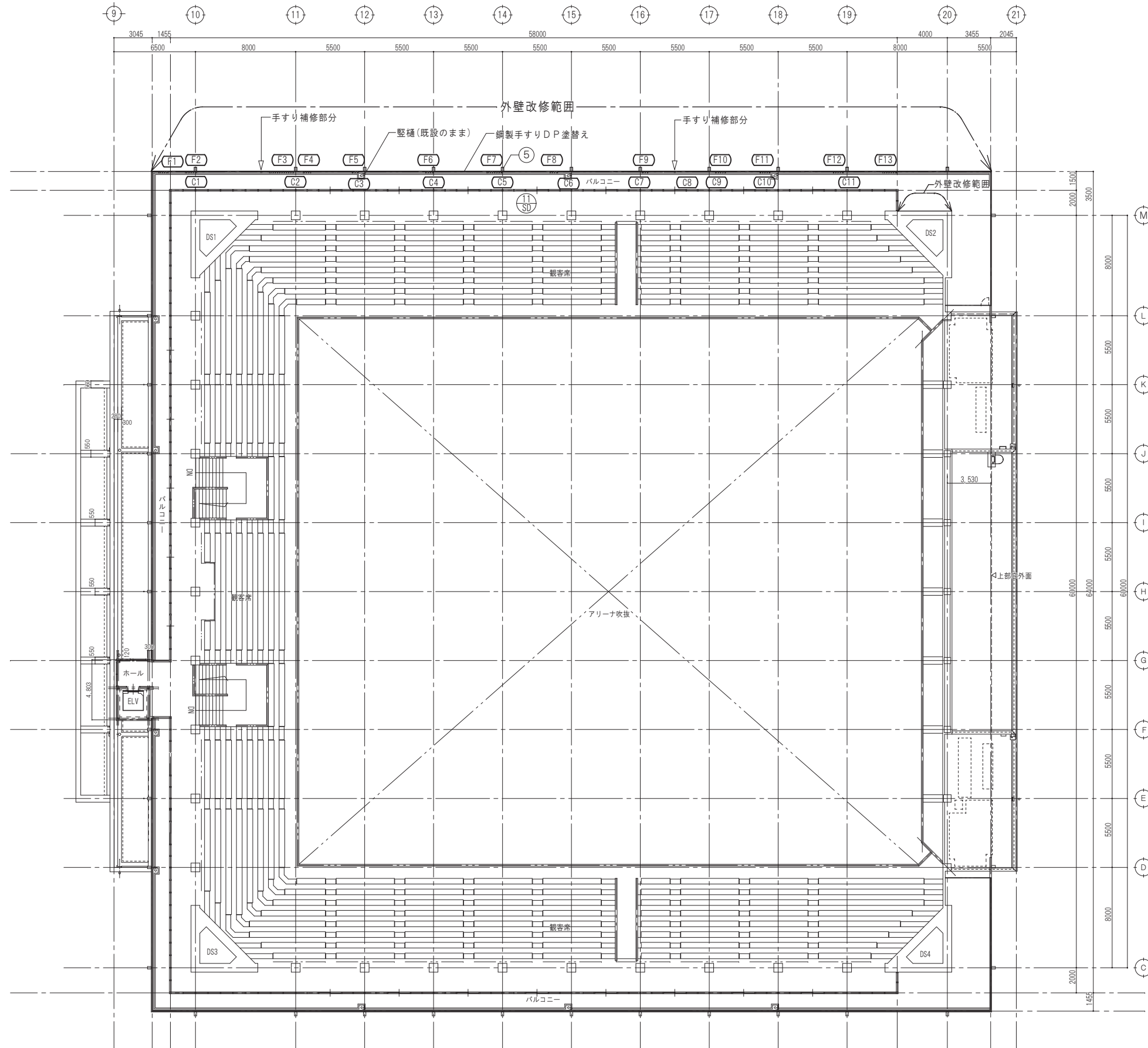
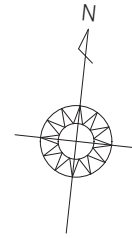
コンクリート打放し ひび割れ

記号	巾	長さ mm
C1	0.2	1500
C2	0.2	600+600
C3	0.2	600+600
長さ小計		mm
0.2mm		3900

1階 平面図 1/250



備考	有限会社 小林設計事務所 鳥取市 下段526-2 TEL23-6245 一級建築士登録60642号 小林 孝行	CHECK	DRAW	DATE R05-	工事名称 倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事	図面番号 A-05
				図面名称 1階 平面図	SCALE(A2版) 1/250	



3階平面図 1/250

【凡例】

モルタル 浮き

モルタル笠木 浮き

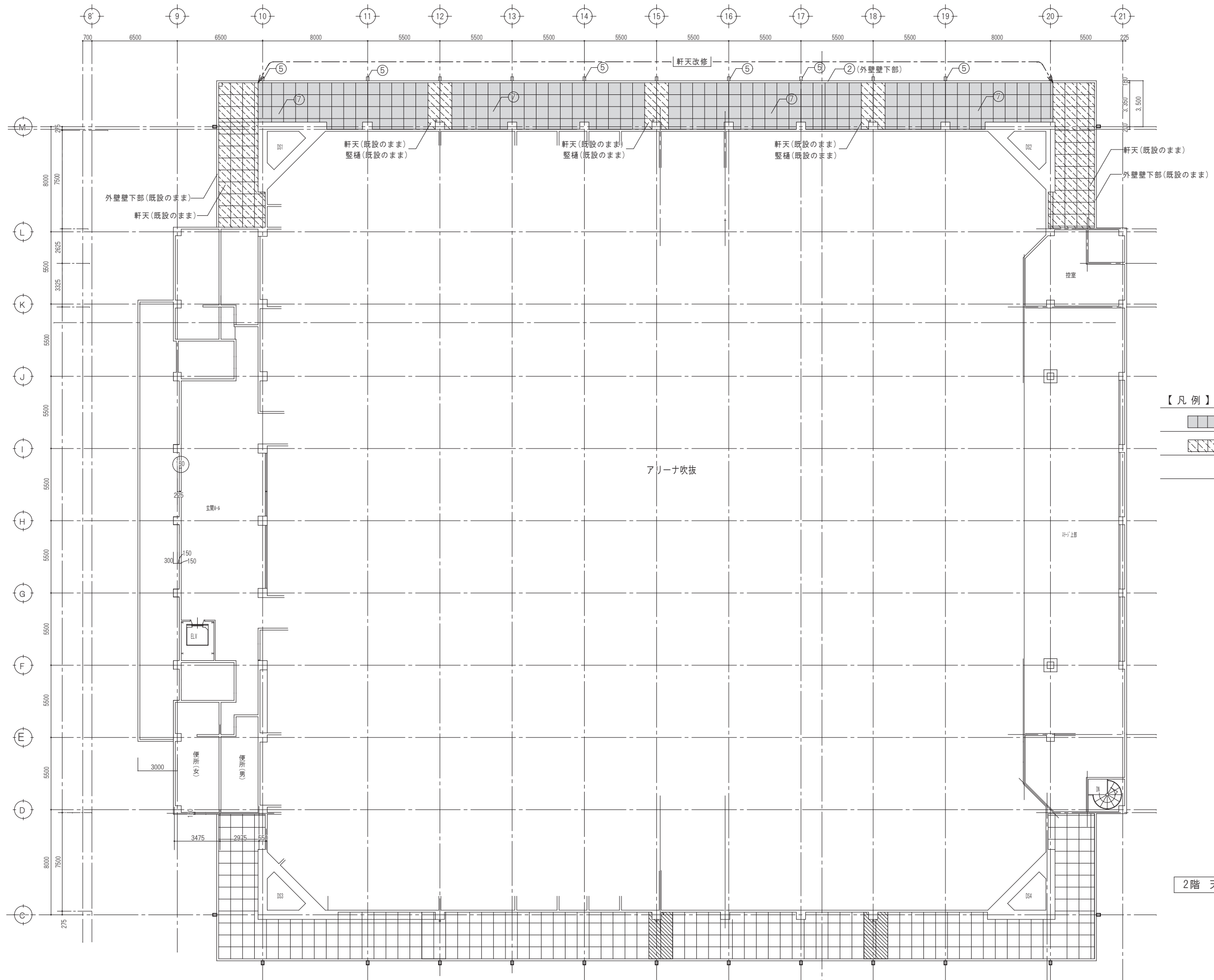
記号	長さmm (巾は全て180)
F1	750
F2	900
F3	1900
F4	600
F5	500
F6	600
F7	1200
F8	600
F9	450
F10	800
F11	800
F12	600
F13	1100
計	10800
面積	
10.8×0.18 = 1.944 m ²	

モルタル笠木 ひび割れ(長さ180mm)

記号	ひび割れ巾
C1	0.2
C2	0.2
C3	0.3
C4	0.2
C5	0.2
C6	0.3
C7	0.3
C8	0.3
C9	0.3
C10	0.2
C11	0.2
長さ小計 mm	
0.2mm	6×180 = 1080
0.3mm	5×180 = 900

備考	有限会社 小林設計事務所 鳥取市 下段526-2 TEL23-6245 一級建築士登録60642号 小林孝行			CHECK	DRAW	DATE R05-	工事名称 倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事	図面番号 A-07
							図面名称 3階 平面図	SCALE (A2版) 1/250



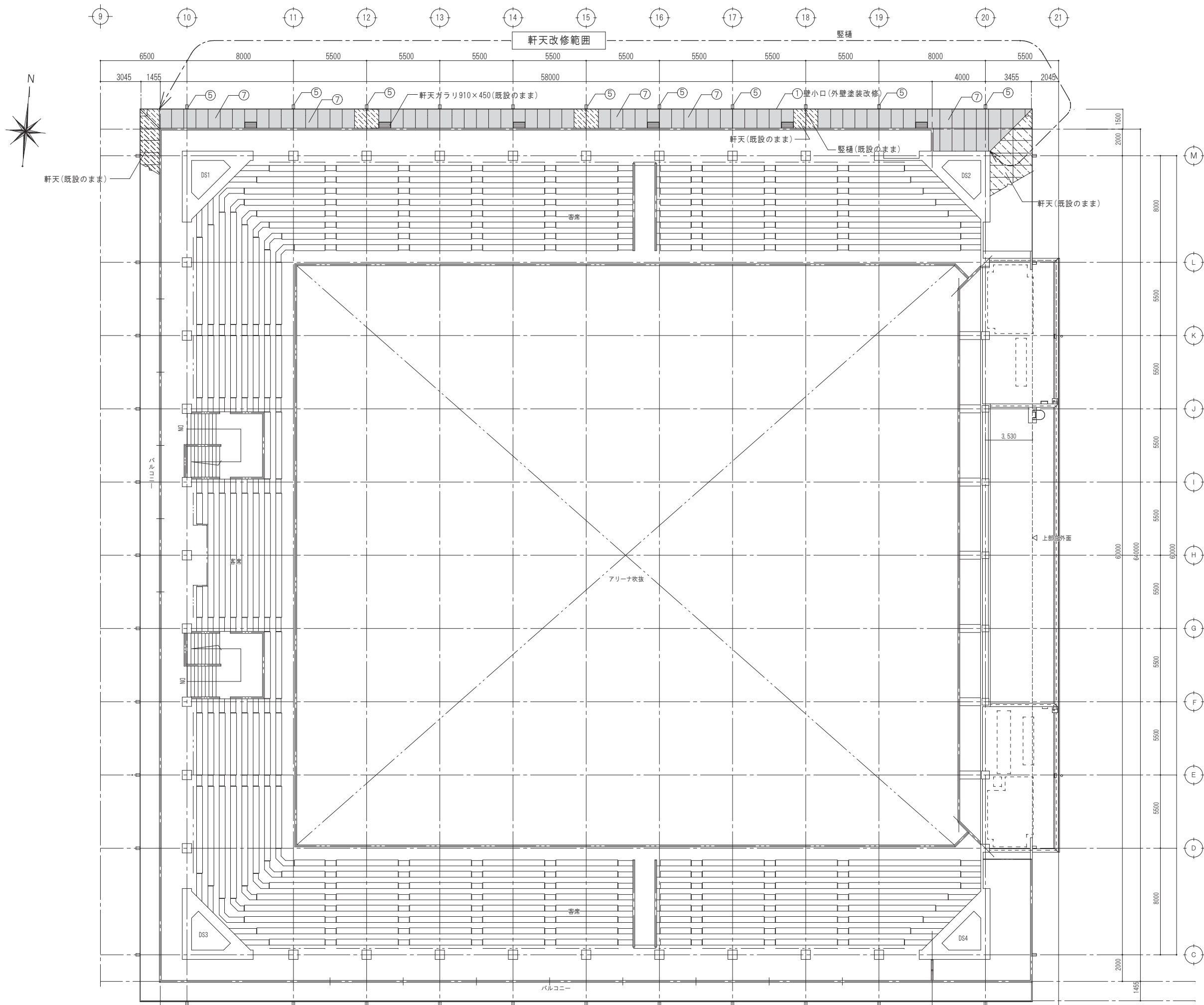


- 【凡例】
- 軒天改修部分(北面)
 - 軒天既設のまま(既改修部分)

2階 天井伏図 1/200



備考	有限会社 小林設計事務所 鳥取市 下段526-2 TEL 23-6245 一級建築士登録60642号 小林孝行			CHECK	DRAW	DATE R05-	工事名称 倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事	図面番号 A-08
	図面名称 2階 天井伏図							SCALE (A2版) 1/200

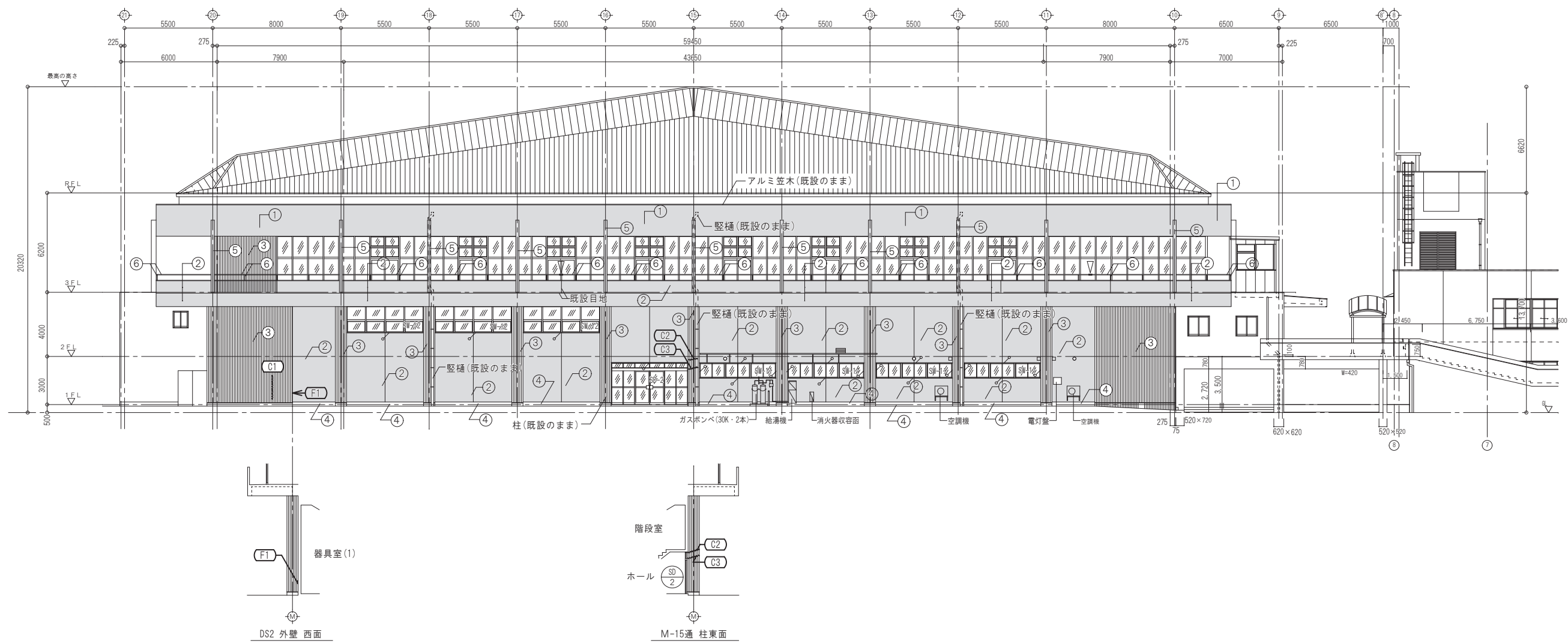


- 【凡例】
- 軒天改修部分(北面)
 - 軒天既設のまま(既改修部分)
 - 換気ガラリ(既設のまま)

3階天井伏図 1/200



備考	有限会社 小林設計事務所 鳥取市 下段526-2 TEL23-6245 一級建築士登録60642号 小林 孝行	CHECK	DRW	DATE R05-	工事名称 倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事	図面番号 A-09
				図面名称 3階 天井伏図	SCALE(A2版) 1/200	



北側立面図 1/200

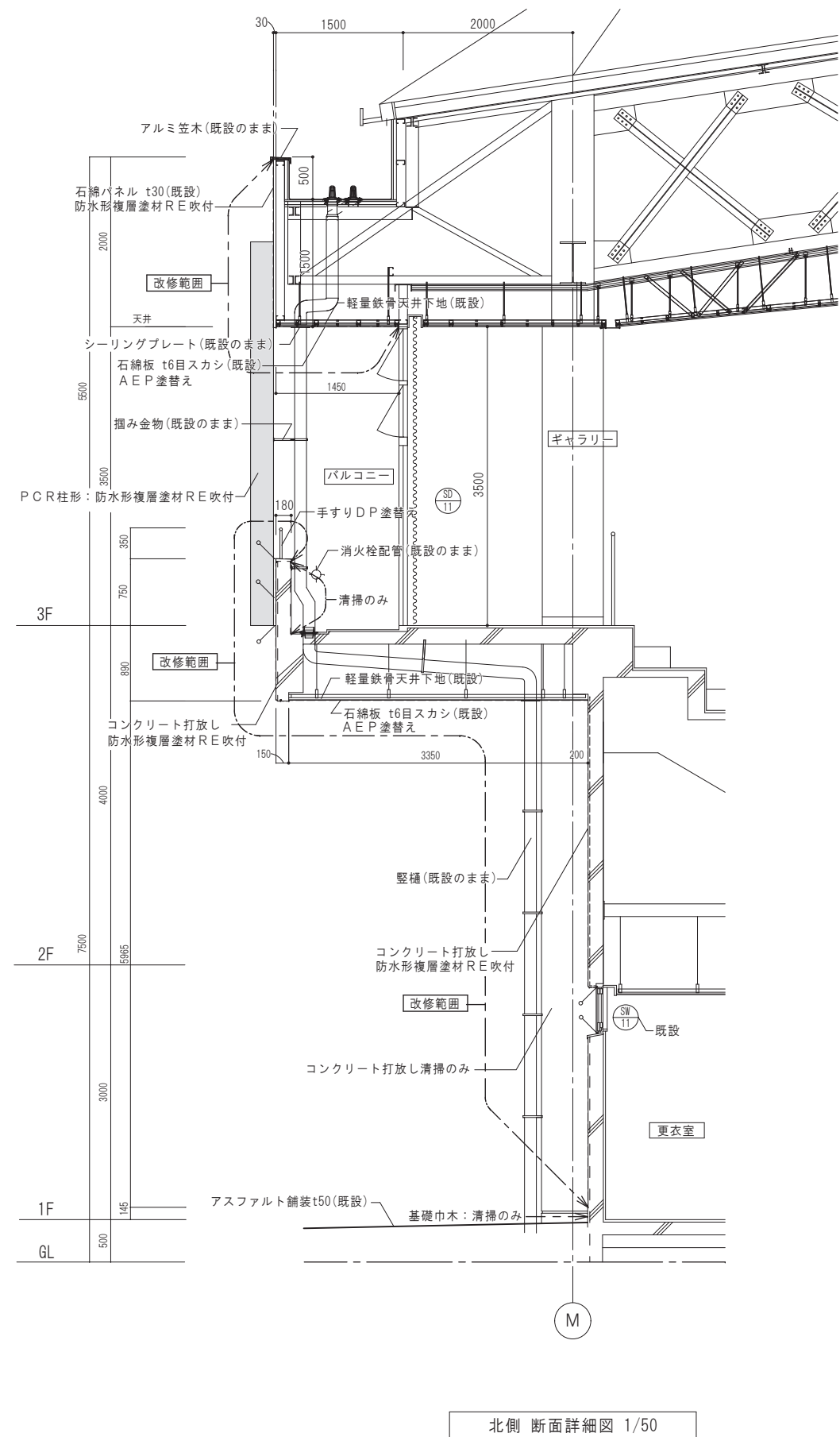
- 【凡例】
- ▽ 鋼製手すり劣化部補修 (A-11参照)
 - ひび割れ (C)
 - ▨ 浮き部 (F)

【外部仕上表】

	改修記号	改修前	改修概要	備考
外壁	①	石綿サンドイッチパネル t30+防水形外装薄塗材 E	防水形複層塗材 R E (透湿性) 吹付 既存塗膜除去(活膜残置)	
	②	コンクリート打放し+防水形外装薄塗材 E	防水形複層塗材 R E (透湿性) 吹付 既存塗膜除去(活膜残置)	サッシ周りシーリング打替え
	③	コンクリート打放し	表面清掃: 水洗い 高圧ポンプ10~15MPa程度	
	④	基礎巾木: モルタルこて押え出巾木	表面清掃: 水洗い 高圧ポンプ10~15MPa程度	
	⑤	柱形: PCコンクリート200×300×4500 防水形外装薄塗材 E	防水形複層塗材 R E (透湿性) 吹付 既存塗膜除去(活膜残置)	シーリング打替え
バルコニー (内部)	⑥	鋼製手すり: SOP	D P 塗替え	腐食部の補修
		笠木: 防水形外装薄塗材 E 腰壁: 化粧モルタル塗り	防水形複層塗材 R E (透湿性) 吹付 既存塗膜除去(活膜残置) 表面清掃: 水洗い 高圧ポンプ10~15MPa程度	
バルコニー (軒天)	⑦	2~3階 石綿大平板 t5.0 目スカシ+VP	A E P 塗替え	
		3階 軒天ガラリ 910×450 縦樋	既設のまま 既設のまま	

鳥取県
令和5年度
12300229
中部環境建築
局

備考		有限会社 小林設計事務所 鳥取市 下段526-2 TEL23-6245 一級建築士登録60642号 小林孝行	CHECK	DRAW	DATE	工事名称 倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事 図面名称 北側立面図・外部仕上表	図面番号	A-10
				R05-	SCALE(A2版)		1/200	



北側 断面詳細図 1/50

【北面建具表】

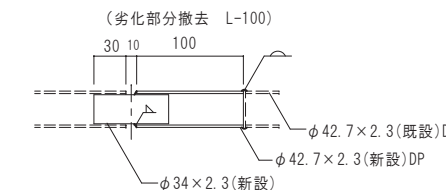
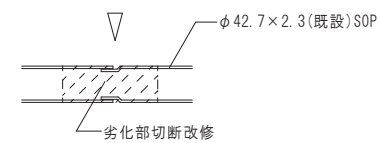
記号	W × H	数量	枠見込み	シーリング
SW-11	4700×900	4	W-86	撤去再施工 MS-2
SW-12	4700×1500	3	W-86	同上
SD-2	4700×2600	1	W-100	同上
SD-11	58000×3475	1	W-150	既設のまま

※ ○ 数字はA-1 O 改修記号を表す

3階バルコニー 鋼製手すり 補修 1/5 (2カ所)

【改修前】

【改修後】

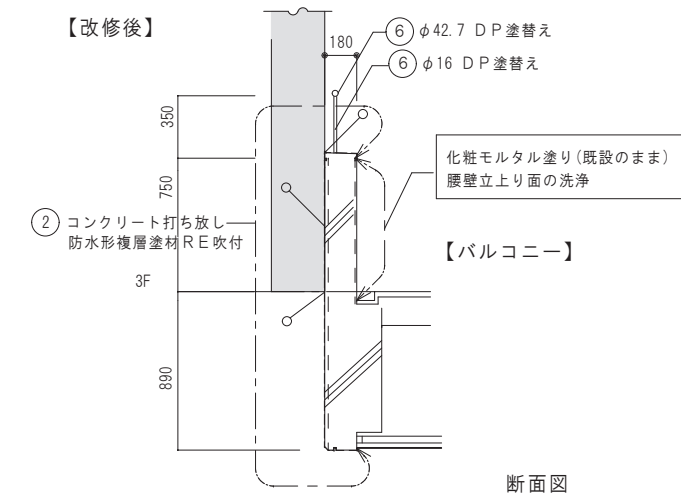
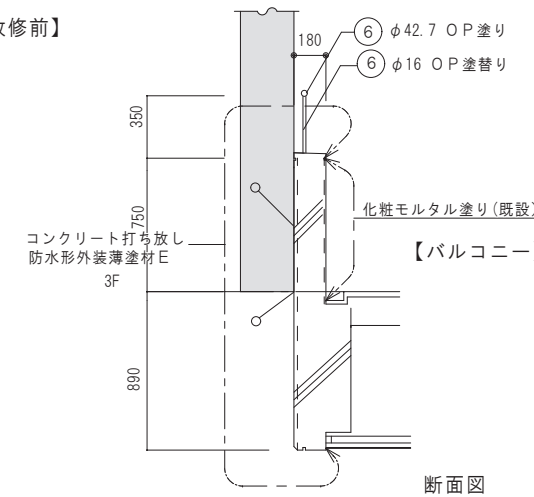


※事前に現状の確認を行うこと。

3階バルコニー腰壁改修 1/30

【改修前】

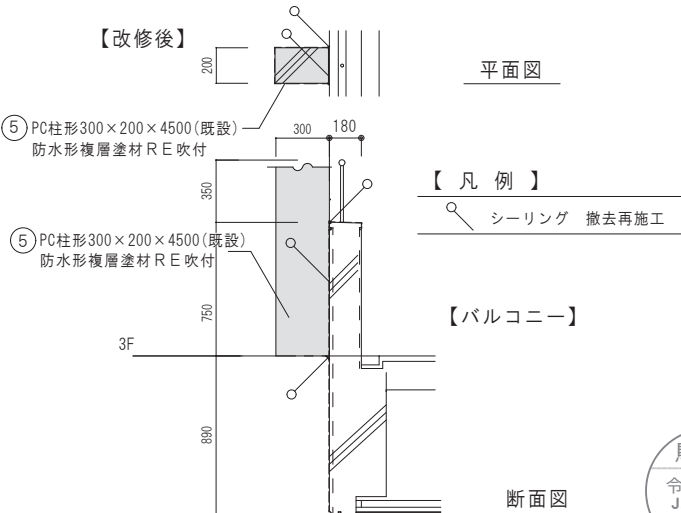
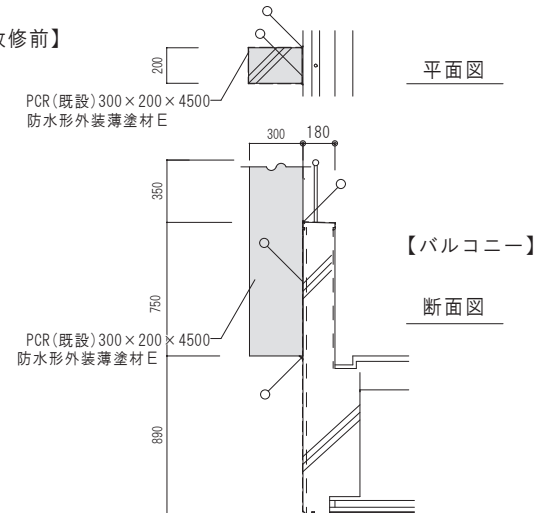
【改修後】



3階北側 外壁-PCR柱形 接続部シーリング打替え (11カ所)(パラペット共) 1/30

【改修前】

【改修後】



【凡例】

○ シーリング 撤去再施工 MS-2

【バルコニー】



備考	有限会社 小林設計事務所 鳥取市 下段526-2 TEL 23-6245 一級建築士登録 60642号 小林 孝行				CHECK	DRAW	DATE R05-	工事名称 倉吉体育文化会館体育館北側外壁改修工事	図面番号 A-11
								図面名称 北側詳細図・部分詳細図・建具表	SCALE (A2B1) 1/5・1/30・1/50

改修工事内容

1階天井面の既設電気配管、ボックス、ラック、吊りボルトの塗装改修

【改修範囲】

電線管（大）252m 電線管（小）64m

ラック、吊りボルト等 57.2m ボックス 4.2㎡

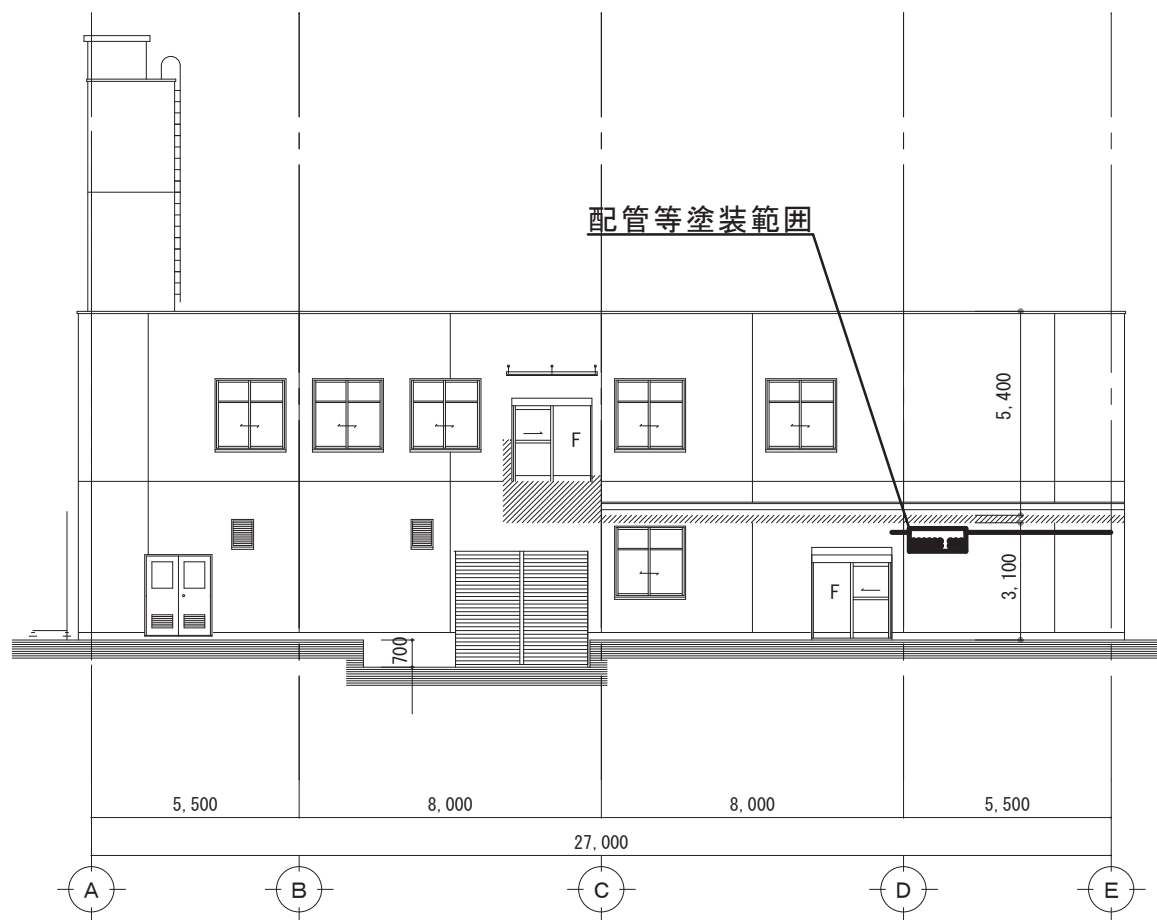
※現地調査を行い、監督員と協議の上施工範囲を確定すること

【改修工法】

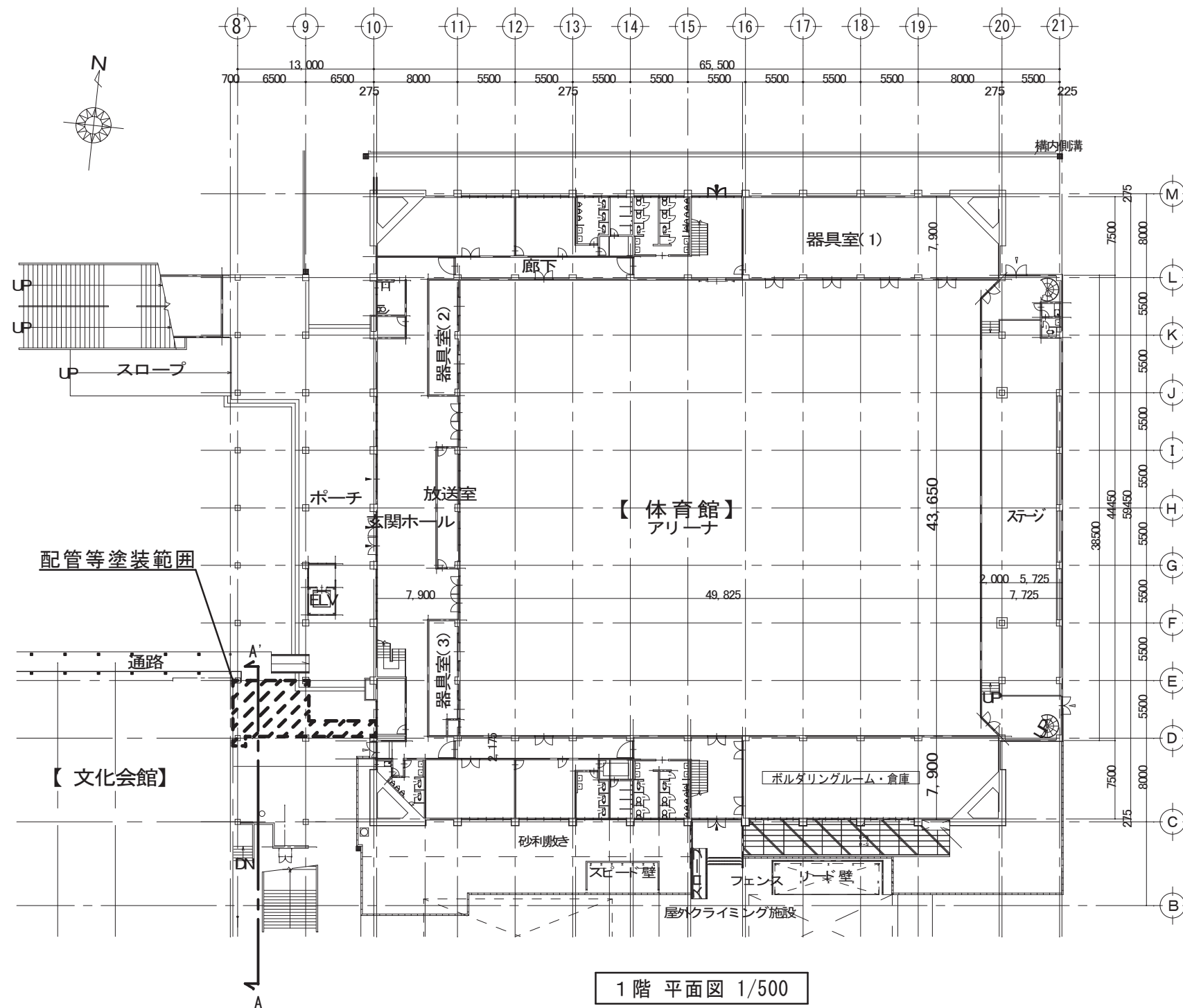
下地調整RB種

錆止め塗料塗りB種

耐候性塗料塗り3級



A-A'断面図 1/200



1階平面図 1/500

鳥取県
令和6年度
中部環境建築
局